

久留米大学を受診した患者さんへ

「当院での転倒予防WGにおける入院中転倒患者の実態調査と予防策の検討」の研究に使用する試料（情報）について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の試料（情報）を使用します。

- 1) 期間：平成23年1月より平成27年12月
- 2) 受診科：全診療科
- 3) 対象疾患名：規定していませんが入院中に転倒された方を対象とします
- 4) 使用する試料（情報）：（診療録・転倒転落アセスメントシート）

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：リハビリテーション部
研究代表者：作業療法士 原野裕司
研究分担者：助教 橋田 竜騎
理学療法士 神谷俊次

2) 研究の意義と目的：

近年、包括的かつ積極的な転倒予防対策の必要性が高まってきており、久留米大学病院でも多職種による転倒予防ワーキンググループを平成26年1月より設立しました。

転倒の危険度は当院の転倒アセスメントスコアで各患者にカルテに記載されており、これらを検証して院内の転倒発生を防ぐことが目的です。

3) 研究の方法：

入院中転倒された方の診療カルテの内服状況や転倒危険度等の情報を集計して転倒に至った原因を追究します。そして改善策を立案します

4) 研究期間：平成28年2月倫理委員会承認後～平成29年2月28日

5) 上記の試料（情報）の使用を選定した理由：

転倒危険度、内服状況、理学所見は転倒への影響が強いと考えられます。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：

対象者の人権擁護と個人情報の保護については最善の注意を払います。対象者は個人を特定できないよう匿名化してそのデータを守秘義務として取り扱い、本研究の目的以外で使用することはありません。資料等はすべて久留米大学病院リハビリテーション部での管理とします。

7) 研究成果の発表の方法：

本研究より得られた知見は、学会報告など提示させていただく予定です。

8) 利益相反：

本研究は特定企業からの資金援助はありません

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

(代表者氏名) 原野裕司

(所属、職名) リハビリテーション部 作業療法士

(住所) 久留米市旭町 67

(TEL) 0942-31-7645

(FAX) 0942-32-6778